



2023年度 神戸YWCA 環境・暮らし委員会
神福のはしごプロジェクト

オンライン全3回シリーズ

今の福島を知る

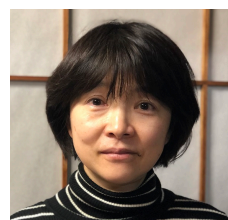
神戸YWCAは、2011年の東日本大震災および東京電力福島第一原発事故以来、福島YWCA、日本YWCAと協働して、被災者支援プロジェクトを実施してきました。福島の方々の声を聞き続け、つながり続ける私たちでありたいと活動しています。

今回、3人の方から福島についてお話を聞きます。テーマは「聞く」「知る」です。

第1回 10月19日(木) 19:30-21:00

「処理水？ 汚染水？ どちらが本当？」

国際環境NGO FoE Japan 満田夏花さん



第2回 11月2日(木) 19:30-21:00

「汚染水は止められないの？」

地質からみる止水とは」

福島大学共生システム理工学類 柴崎直明さん



第3回 11月16日(木) 19:30-21:00

「原発事故後12年歩み～測り続ける理由」

認定NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね



開催方法：Zoomによるオンライン *見逃し配信あり

定員：各回25人

参加費：一般 全3回 2,000円(1回参加は1,000円) 学生は無料

申込方法：①10月5日(木)までにオンラインフォーム (<https://forms.gle/wqahNysFGbPZPJQk8>) で、
または事務局まで電話で、お申し込みください。

②申し込み後、参加費を下記の方法でお振り込みください。

・郵便振替：01100-0-10298 公益財団法人神戸YWCA

・銀行振込：三井住友銀行三宮支店 普通 1015232 公益財団法人神戸YWCA

③入金確認後、Zoomの詳細をお知らせいたします。



主催・お問い合わせ

神戸YWCA 環境・暮らし委員会

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692

e-mail: office@kobe.ywca.or.jp

www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

講師プロフィール紹介

◆満田夏花さん

国際環境 NGO FoE Japan 事務局長。環境関係の財団の主任研究員を経て、2009 年から FoE Japan に在籍。2011 年 3 月 11 日を境に、原発事故被害者の支援、原発・エネルギー政策をめぐる運動に従事。

FoE Japan (エフ・オー・イー・ジャパン)

地球規模での環境問題に取り組む国際環境 NGO。気候変動、エネルギー、脱原発、大規模開発に伴う環境や人権の問題に取り組んでいる。

原発関係では、政策提言のほか、福島の子どものための保養プログラム「福島ぽかぽかプロジェクト」や原発事故の被害を可視化する「福島ミエルカプロジェクト」に取り組んでいる。

◆柴崎直明さん

1960 年生まれ。専門は水文地質学。技術士（応用理学）、博士（理学）。2004 年から福島大学共生システム理工学類教授。2013 年から福島県廃炉安全監視協議会専門委員、2015 年から福島第一原発地質・地下水問題団体研究グループ代表。2023 年 7 月から「復興と廃炉の両立と ALPS 処理水問題を考える福島円卓会議」賛同人。著書に『福島第一原子力発電所の地質・地下水問題－原発事故後 10 年の現状と課題－』（2021 年、地学団体研究会）など。

◆認定 NPO 法人いわき放射能市民測定室たらちね

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、2011 年 11 月 13 日に開所しました。

被災地の母親たちが、家族と子どもの命を守るため、安全な食材を求めて生きるための放射能測定を始めました。

福島の問題は数年経てば解決するだろうと考えておりましたが、時が経てば、心の問題、健康の問題、廃炉に向かう作業の過程で発生した廃棄物の問題など、事故直後の目に移りやすい問題とは違った深刻な事柄が増えています。そこに向き合うためには、常に科学的視点が必要となります。たらちねでは、その科学的視点と思考を起点に、子どもたちや地域の人々の心と身体の健康を支えていきたいと思っております。